

新農薬の紹介

コナジラミ類行動制御剤, アセチル化グリセリド乳剤の特長と使い方

石原産業株式会社 **か しま たか ゆき**
加 嶋 崇 之

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 **きたむら としお おおにし じゅん**
北村 登史雄・大西 純

熊本県農業研究センター **ふる いえ ただし**
古 家 忠

はじめに

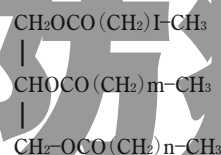
「ベミデタッチ®乳剤」は、石原産業株式会社と理化学研究所の共同研究により見いだされたコナジラミ類行動制御剤である。本剤の有効成分のグリセリン酢酸脂肪酸エステル（別名：アセチル化グリセリド）は世界的に食品添加物と認可されており、長年に渡り使用されている安全・安心な化学物質である。SaFE (Safe and Friendly to Environmental) のコンセプトに基づき、2004年から有効成分の選抜とその性能が最大限発揮される製剤処方探索研究を行い、最終的にアセチル化グリセリド80%乳剤の確立に至った。その後、2014年度からの5年間、内閣府主導のSIP「戦略的イノベーション創造プログラム（次世代農林水産業創造技術）」にて国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構や県試験研究機関と協力し、本剤の作用特性の解明や農業現場で真に役に立つ社会実装技術の開発を行った（日本，2019）。その間、日本植物防疫協会の委託試験を通じて、2015年11月11日に農薬登録を取得し（表-1）、全国にて現地実証試験を行った。その結果、本剤はトマト栽培で深刻な問題となっているコナジラミ類が媒介するトマト黄

化葉巻ウイルス（TYLCV）の媒介抑制に貢献できることが実証され、2019年6月から販売を開始している。

I 有効成分と性状

一般名：グリセリン酢酸脂肪酸エステル
（別名：アセチル化グリセリド）

構造式：



$l, m, n = 0, 6, 8, 10, 12, 14, 16$
(l, m, n のうち一つまたは二つが0のモノまたはジエステル)

分子式：混合物 ($\text{C}_{19}\text{H}_{34}\text{O}_6$)

分子量：混合物（代表成分 358.5）

製 剤：乳剤

有効年限：3年



II アセチル化グリセリドの安全性

ベミデタッチ乳剤の安全性情報を表-2に示す。急性

表-1 ベミデタッチ乳剤の登録内容（2018年10月29日現在）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	グリセリン酢酸脂肪酸エステルを含む農薬の総使用回数
トマト	コナジラミ類	500倍	100~300 l/10a	収穫前日まで	散布	-	-
ミニトマト							

A Novel Insect Behavior Regulator, The Feature and Usage of Acetylated Glyceride. By Takayuki KASHIMA, Toshio KITAMURA, Jun OHNISHI and Tadashi FURUIE

（キーワード：アセチル化グリセリド，食品添加物，昆虫行動制御剤，トマト黄化葉巻ウイルス）